国分寺南口駅前おなかとひふのクリニック　　令和8年10月21日作成

1. 目的

本マニュアルは（国分寺南口駅前おなかとひふのクリニック（以下、当院）を受診する患者に対して、来院後速やかに症状を把握し、緊急度に応じた診療の優先順位を決定することで、予後の改善と安全な外来運営を行うことを目的とする。

2. 対象患者

夜間、休日または深夜に当院を受診する全ての初診患者を対象とする。

※日中の時間帯であっても、緊急を要すると判断される場合は本基準を準用する。

3. 実施体制

実施者　　：専任の医師が行う。
場所　　：受付カウンター、または処置室・初診療察室。
開始時間　　：患者の来院後、原則として10分以内に評価を開始する。

4. トリアージ判定基準（JTAS準拠）

生理学的評価（バイタルサイン）と解剖学的評価（主訴・症状）を総合的に判断する。

緊急度（区分）	状態適応基準（代表例）	診療待機時間の目安
レベル1（蘇生）	心配停止、意識消失、激しい呼吸不全、ショック状態、大出血。	直ちに診療開始
レベル２（緊急）	強く激しい頭痛・胸痛・腹痛、突然の麻痺、SpO2 90%以下、中等度の意識障害、ぐったりしている小児。	10分以内
レベル3（準緊急）	変形のある四肢外傷、中等度の痛み・呼吸苦、頻度の嘔吐・下痢による脱水、38.5℃以上の高熱（意識清明）。	30分以内
レベル4（低緊急）	縫合を要する程度の外傷・軽度の痛み、安定した発熱、慢性症状。	60分以内
レベル5（非緊急）	症状が極めて軽微、継続処方のみの希望、いつもの症状。	120分以内

5.評価の手順

第一印象の確認：
外観（顔色・表情）、意識（声掛けへの反応）、呼吸（苦しそうか）を瞬時に確認。
バイタルサインの測定：
必要に応じて、意識レベル（JCS/GCS）、血圧、脈拍、呼吸数、SpO2、体温を測定。
主訴・病歴の聴取：
「いつから」「どこが」「どのように」を確認し、重症化リスク（既往歴・年齢）を考慮。
判定・記録：判定した緊急度（レベル1〜5）を診療録（電子カルテ等）に速やかに記載する。

6.患者・家族への説明と同意

トリアージ実施後、患者または家族に対し「病状により診察の順番が前後すること」を丁寧に説明し、理解を得る。
院内に「院内トリアージ実施料」に関する掲示を行い、運用の透明性を確保する。

7.再評価

待機中の患者については、以下の間隔を目安に状態変化がないか再評価を行う。
イエロー（レベル3）：30分ごと
グリーン（レベル４）：60分ごと
※待機中に症状が増悪した場合は、直ちに緊急度を格上げ（アップトリアージ）する。

8.施設基準の維持

本マニュアルは年１回以上見直しを行う。
担当スタッフに対し、定期的なトリアージ研修（JTAS講習会等）を実施する。

附則　　本マニュアルは届出日（令和8年11月1日）より施行する。